

# 信州プレミアムカラマツのブランド化

## 1. ねらい

良質な大径材、高品質な製品として信州カラマツの利用を推進するため、長野県や木材関係団体と協同して一定規格以上の丸太をブランド化し、市場に流通させています。

## 2. 概要

長野県を代表する樹種「カラマツ」は、先人たちの努力により、植え、育てられ、古いものは80年以上の時を経て、全国に先駆けて大径材として生産、利用の時代を迎えています。

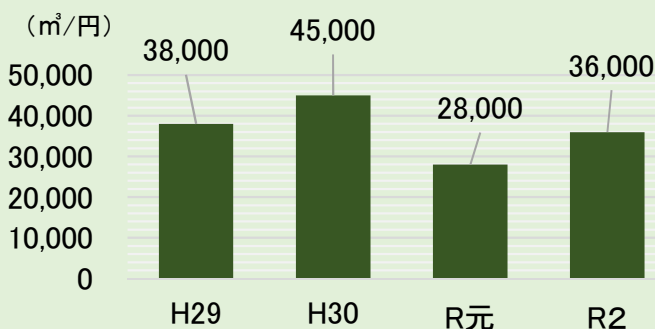
平成29年5月に開催された「国際ウッドフェア2017」の会場において、長野県、長野県森林組合連合会、長野県木材協同組合連合会とともに、長野県産の林齢80年生以上の高齢級カラマツ人工林から生産される径級30センチ以上の良質な大径材丸太を「信州プレミアムカラマツ」として発表し、同年10月に初出荷しました。



## 3. 成果

民有林材と国有林材を合わせて、平成29年度から販売を開始、最高単価は平成30年度に45,000円(1m<sup>3</sup>当り)と高値で取引され、保育園や庁舎などの公共建築物等で利用されはじめています。

信州プレミアムカラマツの販売実績(販売単価)



木曾町 三岳保育園

## 4. 問い合わせ先

資源活用課

電話026-236-2677